

第2回 我孫子市放射線対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成23年7月21日（木）15:30～16:30

【出席者】 放射線対策会議委員（市長、副市長、教育長、企画財政部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、建設部長、都市部長、消防長、教育総務部長）放射線対策会議幹事（保育課長、手賀沼課長、農政課長、公園緑地課長、警防課長、教育委員会学校教育課長）

(1) 空間放射線及び学校、保育園における積算線量データ

（学校における放射線量測定について－教育委員会学校教育課）

- ・ 7月4日、7月11日、7月12日で全校測定。全体として横ばい傾向である。
- ・ 新木小、並木小、我孫子中で積算線量計を7月13日～20日装着。年間推定積算量は0.2マイクロシーベルト／年間登校200日。

（保育園・幼稚園における放射線量測定について－保育課）

- ・ 根戸、つくし野、並木保育園で砂の除去、一部土削り取りを実施し、線量低減。
- ・ 並木、つくし野保育園で積算線量計を7月13日～20日装着。年間推計0.343マイクロシーベルト／年間登園294日。

（公園における放射線量測定について－公園緑地課）

- ・ 7月14日（木）に21公園で測定実施。前回の測定で、毎時0.7マイクロシーベルト超の我孫子後田、天王台西などで草刈・集草を実施し線量低減。
- ・ 土、芝、砂、コンクリート上において、線量低減のための実験実施。土では1センチメートル表層撤去で、芝では根ごと撤去で、砂では5～10センチメートル撤去で有意な低減が見られた。

（定点測定について-手賀沼課）

- ・ 7月11日（月）実施。7月19日（火）天候不良で中止。
→表を見やすく

（積算線量計について）

- ・ 線量計の測定方法と記録方法を統一する。（担当手賀沼課）公表の仕方について、次回検討。

（表土の撤去）

- ・ 並木保育園、根戸保育園で人力で表土を削り取ったところは、園庭が凸凹で危険なため、重機を投入。グラウンド整備レベルで表土の除去を行う。年間1ミリシーベルト超ならば、重機投入。

（砂場の土入れ替え）

- ・ 保育園については、公立保育園7園で入れ替えを実施。
- ・ 学校については、夏休み中に入れ替えを実施。（予備費で対応）
- ・ 公園については、原則毎時0.3マイクロシーベルト超だが、当面毎時0.4マイク

ロシーベルト超箇所で試験的实施。

(2) 市内農産物の分析調査についてー農政課

- ・ これまでの調査では、暫定基準値を超えるものはない。
- ・ 枝豆、ねぎの結果が7月22日に出る。
- ・ 簡易分析器が納品され、実際に稼働するのは10月からになる予定。
(学校給食の食材の分析調査ー学校教育課)
- ・ 9月期は、2品目/週で検査を業者委託。給食納入の我孫子産野菜については、8月盆明けに先行検査。
- ・ 10月期以降は、農政課購入の分析器で検査。

(3) 放射線講演会についてー手賀沼課

- ・ 7月27日(水) 市主催放射線講演会、会場-中央学院大学
- ・ 7月27日(水) 講演会、主催者あいさつは、環境経済部長が行う。
- ・ 8月20日(土) 第2回講演会を10時～ 会場-中央学院大学 講師-放医研研究員

(その他)

(クリーンセンターの焼却灰)

- ・ 現在ストックの草が3,700ベクレル/kg。
(学校給食の汚染牛肉使用について)
- ・ 11校で31回、牛肉使用しているが、現時点の調査では汚染牛肉は使用していない。
- ・ 学校教育課で、簡易測定器を3台購入予定で納品まで1か月かかる。
(プールの水の検査)
- ・ 並木小、第二小、湖北台東小、布佐南小の4校で実施したが、未検出。